

廿日市市公共交通協議会

平成22年3月25日設置

廿日市市



概要

廿日市市では、バスなどの住民の日常生活における移動を担う生活交通が、マイカー利用の増加等により利用者が減少傾向にあり、継続的な運行が困難となっている。一方で、中山間部、島しょ部を中心に高齢化が進み、マイカーを自由に利用できない高齢者を中心に、生活交通の重要性は高まりつつある。生活交通の維持確保に係る市の平成22年度の行政負担は約1億円に達する見込みとなっており、効果的・効率的な公共交通体系の構築が求められている。

本年度はこうした状況を受け、現況調査や利用状況調査、アンケート調査、聞き取り調査を実施し、公共交通の課題を整理するとともに、これに対応する事業を検討し、より効果的・効率的な公共交通体系の構築を目指して地域公共交通総合連携計画を策定する。

○地域公共交通の概要

- ・路線バス ・自主運行バス ・乗合タクシー
- ・鉄軌道(JR山陽本線、広島電鉄宮島線)
- ・フェリー航路(宮島航路)



○地域公共交通の課題

- ・過疎化、高齢化への対応
- ・維持確保に係る行政負担の抑制
- ・市域における地域間格差の是正
- ・市民の生活を支えるサービスの提供
- ・行政、交通事業者、住民の役割分担による連携



○調査事業の主な内容

- ・現況調査
- ・利用状況調査
- ・アンケート調査
- ・聞き取り調査



○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・広域移動サービスの検討
- ・地域内移動サービスの検討
- ・交通結節点の環境向上
- ・利用促進策の検討
- ・観光振興策の検討
- ・地域で支える仕組みの検討

